

まちの話題



106人が力強く筆を走らせ 第2回 香美市新春書き初め大会

一月四日、新春書き初め大会（市立中央公民館主催）が市立中央公民館大ホールで開催されました。

早朝より幼児から大人まで百六人が参加した会場は熱気があふれ、参加者は条幅紙に力強く筆を走らせて「子ねずみ」「春の天使」「東雲春光」などの課題を

書き上げました。

審査の結果、特選二十点、優秀四十三点、入選四十三点選ばれました。特選は次の方々です。

（敬称略）

- ▽百田ひとみ（小一）
- ▽中村きょうすけ（小一）
- ▽吉本貴哉（小二）
- ▽小松榛日（小二）
- ▽中村祐輔（小三）
- ▽松崎みなみ（小三）
- ▽百田やよい（小三）
- ▽村りおな（小四）
- ▽岡林みちこ（小四）
- ▽濱崎華子（小四）
- ▽福富菜由（小五）
- ▽渡邊真也（小五）
- ▽坂本麻由（小六）
- ▽永森奈生子（中二）
- ▽大場真美（中三）
- ▽横田晋三（中三）
- ▽宮崎郁圭（中三）
- ▽田中明希（一般）
- ▽小松希代子（一般）
- ▽大場貴世（一般）

▶小学生も力強く筆を走らせ



◀今年一年の安全運転を呼びかけた



「ユズ」りあい安全運転を 新年ドライバーサービス

一月七日、香美警察署前で、新年ドライバーサービス（主催：香美市交通安全母の会）が行われました。

サービスは、母の会会員と関係団体のほか、若い世代にも安全運転の意識をもってもらおうと今年の新成人ら五人も参加して行われました。

会員らは「ゆずりあい安全運転」と書かれたユズと交通安全の啓発チラシのセットを「今年も安全運転で」と声をかけながらドライバーに手渡していました。

現役プロ野球選手が 母校・舟入小で野球教室

一月四日、舟入小学校グラウンドで、香美市出身の現役プロ野球選手による野球教室が行われ、少年野球団に所属する児童ら約六十人が参加しました。

指導にあたったのは、ともに舟入小出身の吉川昌宏さん（東京ヤクルトスワローズ）と甲藤啓介さん（福岡ソフトバンクホークス）の両投手。後輩となる児童らと楽しく汗を流し、ボールの握り方やキャッチボールなど基本の大切さを子どもたちに伝えていました。



基本の大切さを教える吉川さんと甲藤さん

全国女子駅伝で8位入賞!! 山田高校女子陸上部

昨年十二月二十三日に開催された『女子第十九回全国高校駅伝』（京都市）で山田高校女子陸上部が、県勢女子初となる八位入賞を果たしました。

同部にとっては、前回大会、惜しくも一秒差で入賞を逃したこともあり、『今年こそ』と臨んだ今回。最終区の五区にタスキが渡つ

たときは十位でしたが、アンカーの川上麻耶さん（二年生）が追い上げ、県高校最高記録となる一時間九分八秒で、見事に八位でゴールしました。

【よろこびの声】

一区 菅原優香さん（三年）
とにかく、先頭に近い位置でタスキをつなぐことだけを考えて走りまし

た。自分の走りには、ぜんぜん納得できませんが、入賞が決まったときは、心が破裂するくらいうれしかったです。

二区 大平彩香さん（三年）

あせらず、自分のペースで走ることを心がけ、精いっぱい走りができたと思います。入賞を知ったのは、移動中のバスの中でしたが、う

れしくて、バスの中で一人で泣いていました。

三区 中谷沙織さん（三年）

昨年はアンカーで走り、胸の差で入賞に届かなかった。悔しさをバネに走りました。納得できる走りではなかったですが、順位を下げなかったのが救いでした。入賞して表彰状がもらえたのはうれしかったです。

四区 山中詩乃さん（二年）

走っているときは、頭の中が真っ白で、前だけを見て無我夢中で走りました。入賞を知ったのは、バスで移動中でしたので、競技場に戻ってから中谷さんと抱き合っってよろこびました。

五区 川上麻耶さん（二年）

アンカーの自分に順位がかかっているの、「入賞したい」とだけ考えて走っていました。前を追いかけてがむしゃらに走ったのが、良いペースになったかも知れませんが、入賞もうれしいですが、県の高校最高タイムを出せたのがうれしかったです。

ともに、高知県バドミントン協会審判部長および二種A級審判員としても市内外で活躍され、現在も香美市体育指導委員として、社会体育の推進、指導体制の確立等に寄与されています。



体育指導委員 勤続表彰 三宮義一さん

平成十九年度全国体育指導委員連合三十九年勤続体育指導委員表彰を三宮義一さん（五十八歳・土佐山田町宝町）が受けました。

三宮さんは昭和四十八年、土佐山田町体育指導委員に選任されて以来、地域の社会体育の普及・振興に尽力されています。特にバドミントンの普及に尽力するとともに、

地域文化功労者表彰 岡林華傳さん

岡林華傳さん（土佐山田町新改・八十四歳）が、『平成十九年度地域文化功労者表彰』を受けました。



同表彰は、芸術文化の振興、文化財の保護に尽力するなど地域文化の振興に功績があった個人または団体を文部科学大臣が表彰するものです。

岡林さんは、多年にわたる土佐山田町文化財保護審議会会長、香美市文化財保護審議会会長を歴任し、地域の文化財保護に貢献されています。

防災への決意を新たに 香美市消防出初式

一月六日、『平成二十年香美市消防出初式』が物部町の大栃高校グラウンドで開催され、市内の消防団員と香美市消防署員ら総勢二百九十人が参加しました。式では、団員の表彰に続いて、人員および服装点検、機械器具点検、分列行進等



制服を身にまとい気を引きしめる団員

を行い、参加した団員らは防災への決意を新たにしていきました。また、終了後は大栃商店街を消防車でパレードし防火・防災を呼びかけました。この日表彰された方々は、次のとおりです。

（順不同・敬称略）

- ▼**功績賞**（十年以上勤続し、かつ分団長以上の職に五年以上勤務した者）
 - ・香北消防団
 - 吉川保雄（本部・副団長）
 - 横尾正一（猪野々分団・分団長）
 - ・物部消防団
 - 為近初男（本部・団長）
- ▼**精勤賞**（品行方正で勤務成績が優秀で他の模範となると認められる者）
 - ・土佐山田消防団
 - 五百歳透（本部・副団長）
 - 三木克司（新改分団・

- 団員）
- ・香北消防団
- 福留紀男（曙霞分団・班長）
- ・物部消防団
- 岡本章（神池分団・班長）
- ▼**勤続賞**（十五年以上勤続した者）
 - ・土佐山田消防団
 - 中澤良（植分団・班長）
 - 平川治（山田分団・団員）
 - 黒河修（繁藤分団・団員）
 - 杉本隆章（同・団員）
 - 三木一道（新改分団・団員）
 - 白川斎（同・団員）
 - ・物部消防団
 - 坂本憲正（大栃分団・部長）
 - 水田耕司（同・部長）
 - 公文一久（同・班長）
 - 新橋則男（同・班長）
 - 森本隆弘（同・班長）
 - 森田博之（同・団員）
 - 小松晃（同・団員）
 - 小松五郎（同・団員）
 - 西野精晃（同・団員）
 - 山崎正司（同・団員）
 - 山崎正（同・団員）
 - 岡本純忠（神池分団・団員）

▲黒土団地で行われた訓練



実際の建物で 消防隊員が訓練実施

昨年十二月二十五日と二十六日、取り壊し予定の黒土二号団地を使った火災想定警防訓練を香美市消防署が実施しました。

訓練は、『市営団地で火災発生』を想定し、消火のほか機材を使った救助訓練も行われました。実際の建物を使った訓練に、消防隊員は真剣な表情で取り組んでいました。

土佐山田幼稚園が 介護施設に車イス寄贈

昨年十二月二十一日、土佐山田幼稚園の園児七十七人が、特別養護老人ホームウエルプラザやまだ荘を訪れ、車イス二台を施設に寄贈しました。

同幼稚園と施設は、毎年七夕とクリスマスに交歓会を開くなど交流し、「お世話になってるホームの皆さんにお礼をしたい」と幼稚園の後援会と教職員、地域の商店などが協力し、廃品回収で得た資金で車イスを購入、寄贈しました。



▶車イスを贈る園児たち

テレビの影響を受ける子どもたち 香美市じんけん講演会・有田芳生さん

昨年十二月九日、保健福祉センター香北で、「香美市じんけん講演会」が開催され、約百五十人が聴講しました。おなじみのフリージャーナリスト、有田芳生さんが、「メディアと人間（テレビ社会が新しい人権問題を生んだ）」と題して講演しました。

また、当日は、講演会の前に、『じんけんポスター表彰式』と『ふれあいの花贈呈式』が行われました。

【有田さんの講演より】

平成七年頃以降、子どものおかしな事件が多発しています。

神戸事件は、平成十一年八月、「酒鬼薔薇聖斗」の殺人事件でした。この少年は、オウム事件の影響を受けて、ホーリーネーム（聖名）を使い、オウム真理教の幹部がテレビに出ているのを見て、「社会に認められ許されるもの」と考えたようです。



有田芳生さん

平成十二年五月、「人を殺してみたかった」という殺人事件がありました。

平成十五年七月、佐世保女児殺人事件の少女は、事件を反省し「今度会ったらあやまりたい」と言っていたいます。

社会に衝撃を与えた代表的な事件を紹介しましたが、少年犯罪は総数では増加しているわけではありません。横浜ホームレス殺人事件の少年は、「あれはゴミでしょう」と言いましたし、両親を殺害した少年が、友人に見に来いと連絡し、「死ぬことは寝るようなもの」と話した事件など、「おかしな事件」といわざるを得ないもので、記憶されてい

る方も多いと思います。一連の事件に共通することは「メディア。特にテレビの影響」です。当たり前のようにテレビがついていて、子どもたちは知らないうちにテレビの影響を受けています。規範的な気持ちも十分に育っていない子どもたちの心の中に、暴力性のようなものを植えつけられているとしたら、多くの問題を生じることがあります。私たち一人一人が、このことを目の前の問題としてとらえ、解決する努力をしなければならぬと思います。これからの子どもたちが希望を持てる社会を作るために。



◆じんけんポスター表彰式 市内の小中学校から募集

した人権ポスターに五十一名の応募がありました。審査の結果、入賞した次の六人に表彰状が贈られました。
(敬称略)

【小学部】

▽最優秀Ⅱ 時久基寛（香長小三年）

▽優秀Ⅱ 楮佐古ひかる（大栃小五年）、時久結衣花（香長小三年）、比江森悠太（佐岡小五年）

【中学部】

▽最優秀Ⅱ 中岡涼子（大栃中三年）

▽優秀Ⅱ 公文典久（大栃中三年）

◆ふれあいの花贈呈式

児童と高齢者のふれあい、交流を目的に、舟入小学校、市、市教委、山田地区人権擁護委員が取り組んだ『ふれあいの花』事業で、舟入小五年生が育てた二百四十株のパンジーが、（医）土佐楠目会「とさやまだファミリーア」「ウエルプラザやまだ荘」、（福）土佐香美福祉会「ケアハウス好日館」へ贈呈されました。

▲大きなおイモが採れました



美良布保育園児が

べふ峡温泉でイモ掘り体験

昨年十二月六日、べふ峡温泉で美良布保育園の園児（五歳児二十八人）が、サツマイモ掘り体験を行いました。

体験は、同温泉が地域貢献として市内の児童らを招待したもので、この日は、先に行われた大栃保育園に続き二回目の開催。園児は、お世話をしてくれる山中司郎さんと一緒に、寒さにも負けず、夢中になってイモ掘りをしました。